

令和6年度藻場創出の取組み

相生湾自然再生学習会議



藻場づくりを4ヶ所で(A～D)取組む



A地点 ペーロン城前の海域

(アマモ苗を移植する:平成26年～令和5年)

藻場の繁茂範囲を調査

藻場面積＝50m×70m



藻場の密集度を調査

岸壁に近いほど密度が高い



B地点 ペーロン海館前の海域

(アマモ苗を移植する:平成31年～令和4年)

点生で確認するが前年から
広がっていない



今年度はアマモ種ボールによ
る移植を計画している



C地点 那波港北側の海域

(種ボールを投入: 令和元年～令和4年)

大雨の後で海底に堆積物(木屑)が多くあり漂着ゴミも目立つ・・・今年度 南側の海域でアマモ種ボールを計画

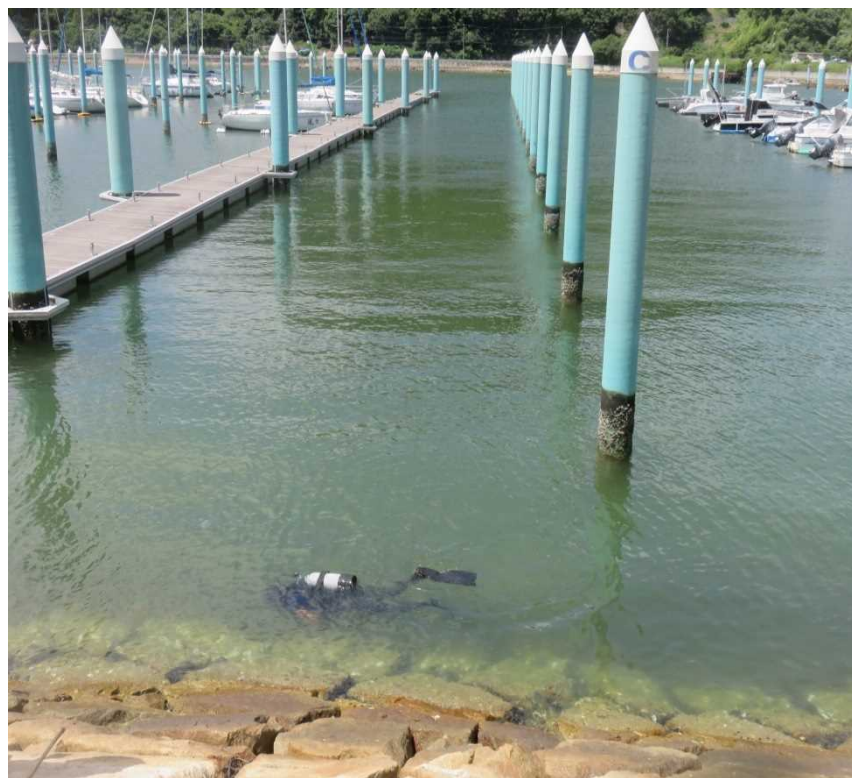
透視度も悪く潜水による確認では前年は確認できたが今年は見当たらない



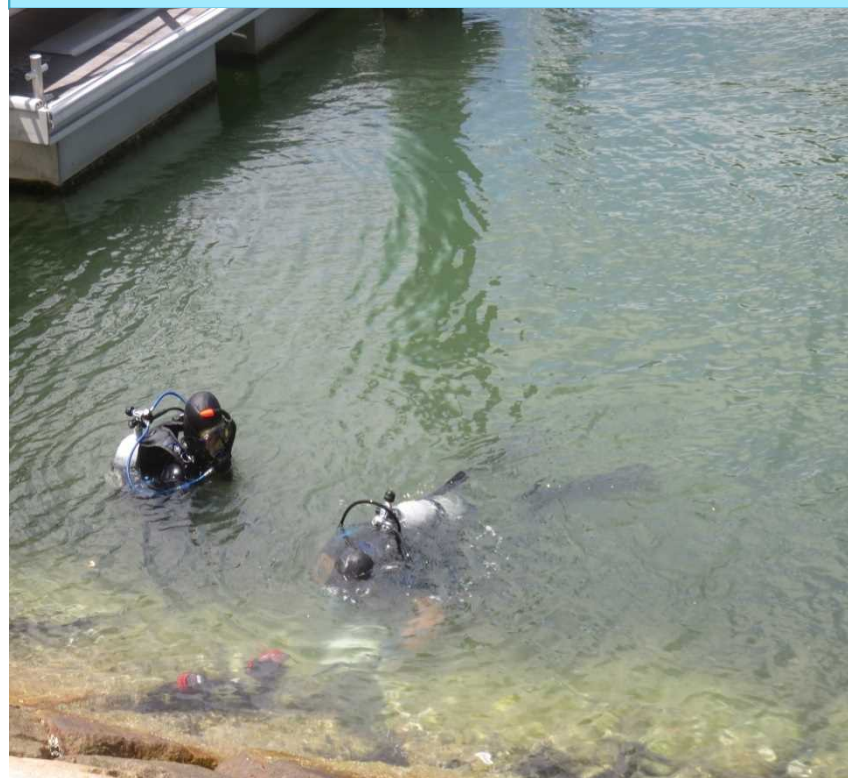
D地点 野瀬海岸の海域

(種ボールを投入: 令和3年～5年)

岸壁からヨットハーバーまでの奥行き5m×巾10mに種ボール150個投入したが発芽していない



点生一ヶ所確認するが広がりが無い(底質が悪い? 泥の深さは70cm) 今年は投入場所を変える



花枝を回収し種を採る。

(ペーロン城前の海域)

水中ドローンによる藻場の確認(繁茂範囲と密度を確認する)



海岸に漂着する花枝を回収しネットに入れ海水に漬け8月上旬に種を選別する。



花枝を回収し種を採る。

(ペーロン城前の海域)

漂着する花枝を竿を使って回収、選別する。



花穂をネットに入れ海底に吊るし8月上旬に種を選別する。



アマモ場づくり

(水中ドローンによるモニタリングの継続)

<種蒔き方法>

- ①種ボールを投入する
藻場づくり
(B・C・D地点)
- ②種蒔きキットを活用し
苗を移植する
藻場づくり (A地点)

<種蒔き海域の見直し>

- ①那波港(C)地点は湾の
南側海域に種ボール
を投入する。
- ②野瀬海岸(D)地点は
亀の尾川の河口に変
更し種ボールを投入す
る。